

第 11 回 再生普及行動計画ワーキンググループ

日時：平成 19 年 4 月 23 日(月) 18:30~20:00

場所：釧路地方合同庁舎 4 階 第三会議室

----- 議事次第 -----

1. 開 会
2. 議 事
 - 1) ワンダグリンド・プロジェクト 2006 報告について
 - 2) ワンダグリンド・プロジェクト 2007 応募結果について
 - 3) 今後のスケジュールについて
 - 4) 環境教育について
3. その他
4. 閉 会

----- 配布資料一覧 -----

- ・ 当議事次第
- ・ 再生普及行動計画ワーキンググループ名簿
- ・ 第 11 回ワーキンググループ出席者名簿
- ・ 資料 1 ワンダグリンド・プロジェクト 2006 報告書作成概要(案)
- ・ 資料 2 ワンダグリンド・プロジェクト 2007 応募取組み一覧(案)
- ・ 資料 3 今後のスケジュール(案)
- ・ 資料 4 環境教育について(案)

- [参考資料]
- ・ 2006 年度具体的取組み報告
 - ・ 2007 年度具体的取組み応募(個票)

釧路湿原自然再生協議会再生普及小委員会
再生普及行動計画ワーキンググループ名簿

<個人>

江崎 秀雄 (森の学習塾代表)
金子 正美 (酪農学園大学環境システム学部助教授)
清水 信彦
新庄 久志 (釧路国際ウェットランドセンター主幹)
永瀬 知志

<団体>

NPO 法人釧路湿原やちの会
釧路湿原ボランティアレンジャーの会
釧路市民活動センターわっと
釧路シャケの会
釧路武佐の森の会
ボランティアネットワーク・チャレンジ隊

<関係市町村>

釧路市 釧路町 標茶町 鶴居村 弟子屈町

<関係行政機関>

国土交通省北海道開発局釧路開発建設部
林野庁北海道森林管理局釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター
北海道釧路支庁
北海道教育庁釧路教育局

<ワーキンググループ事務局>

環境省北海道地方環境事務所 釧路自然環境事務所
財団法人北海道環境財団

第 11 回再生普及行動計画ワーキンググループ 出席者名簿

< 委 員 > (出席者 50 音順)

氏 名	所 属
大西 英一	釧路武佐の森の会
金子 正美	酪農学園大学 助教授
酒田 浩之	ボランティアネットワーク チャレンジ隊
佐竹 直子	ボランティアネットワーク チャレンジ隊
雑賀 重二	NPO 法人釧路湿原やちの会
清水 信彦	(個人)
新庄 久志	釧路国際ウェットランドセンター主幹
杉山 伸一	釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会
永瀬 知志	(個人)
成ヶ澤 茂	釧路シャケの会・釧路市市民活動センターわっと

< 再生普及小委員会 委員 >

氏 名	所 属
高橋 忠一	北海道教育大学釧路校 助教授

< 関係市町村 >

氏 名	所 属
池之谷 美紀	釧路市 環境政策課
高松 一哉	鶴居村 産業課

< 関係行政機関 >

機 関 名	出席者氏名
国土交通省北海道開発局釧路開発建設部治水課	能代 靖己 中津 隆文
林野庁北海道森林管理局 釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター	白藤 未人 中島 章文
北海道教育庁釧路教育局 社会教育指導班	岩崎 摂也
北海道釧路支庁地域政策部環境生活課自然環境係	大野 美枝 後藤 達彦

< ワーキンググループ事務局 >

機 関 名	出席者氏名
環境省北海道地方環境事務所 釧路自然環境事務所所長 次長 国立公園・保全整備課課長補佐 釧路湿原自然保護官	渋谷 晃太郎 櫻井 洋一 川淵 義昭 露木 歩美
財団法人北海道環境財団 企画事業課課長	久保田 学 山本 泰志 内田 しのぶ

ワンダグリンダ・プロジェクト 2006 報告書 作成概要 (案)

は事務局からの提案です。

1 報告書作成のねらい

釧路湿原自然再生普及行動計画(以下、「再生普及行動計画」と略)の2006年度具体的取組みの状況を記録する。

再生普及行動計画の活動状況を、圏域内外に広く発信し、釧路湿原の保全・再生に向けた多様な活動や参加の機会を多くの人に知ってもらう。

新たな取組みを呼びかけ、誘発していくための材料とする。

2 作成方針

再生普及行動計画や具体的取組みが何であるのか分かりやすく説明する。

具体的取組みの実施者作成の報告書を基本とし、個々の取組みを統一した書式で編集する。

関係者のみならず、さまざまな立場の人に手にとっていただけるよう、デザイン・装丁等に配慮する。

印刷物としての配布だけでなく、再生普及行動計画WG通信等のウェブサイトでも公開する。

3 仕様

装丁 / A4判、カラー表紙、本文モノクロ印刷、約80ページ

印刷部数 / 1000部

発行者 / 釧路湿原自然再生協議会再生普及小委員会

発行日 / 2007年 6月中旬

4 配布先

釧路湿原自然再生協議会構成員・事務局機関 123 団体・個人

公共施設、機関 74 ヶ所

釧路管内教育機関(小・中・高・大・専・養護) 約110 校

WG事務局より、随時配布・提供

希望者は、切手つき返信用封筒を事務局宛に郵送 無料で提供

釧路市市民活動センターわっとにて、希望者に配布

ホームページ「再生普及行動計画ワーキンググループ通信」で閲覧可能とする

5 構成・目次

はじめに

発行者代表（再生普及小委員会委員長）名で挨拶文を記載

1 ワンダグリンダ・プロジェクトとは

再生普及行動計画作成の趣旨、経緯、進行管理の仕組み等の概略を記述

再生普及行動計画の10項目概要をパンフレット記載レベルで記述

2 2006年度具体的取組み（ワンダグリンダ・プロジェクト2006）の経緯

募集～とりまとめの経緯を記述

3 2006年度具体的取組み（ワンダグリンダ・プロジェクト2006）取組み一覧

再生普及行動計画の10分類別一覧表を掲載

4 2006年度具体的取組み（ワンダグリンダ・プロジェクト2006）の報告

（提案） 索引として、団体とそのページナンバーを掲載

実施者50音順で、報告のあった約60件の取組みを記載

各実施者作成の報告を、統一した書式（編集イメージ案参照）により編集

各団体の連絡先は個票には記載せず、問い合わせ先として事務局を冒頭に記載

参 考

釧路湿原自然再生協議会の構成と

再生普及小委員会名簿、再生普及行動計画WG名簿を記載

2007年度具体的取組み
(ワンダグリンド・プロジェクト2007)

応募取組み一覧(案)

2007.4

応募結果 : 33団体・個人/57取組み +協議会12取組み

新規団体・個人 : 12団体・個人/19取組み
新規の団体・個人に がついています

林野庁北海道森林管理局釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター	自然再生予定地である雷別地区において、自然再生学習会を実施します	年2回（6月、10月）	54											
	自然再生予定地である雷別地区において、植栽するための広葉樹の苗木育成を行います	10月（種まき予定）	55											

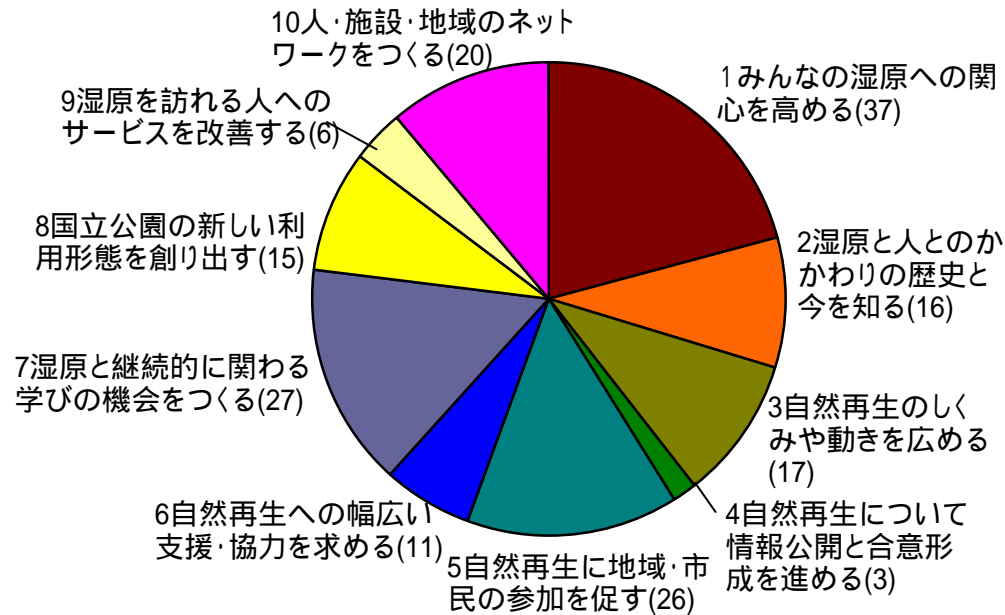
37 16 17 3 26 11 27 15 6 20

協力

喜多島 麻鈴	コンサート活動を通じ地元の湿原のすばらしさ、道東の良さをPRします。	随時	56
細岡ビジターズラウンジ	情報誌等の配布・閲覧の協力	随時	57

計 33 団体(個人)

57 取組み



各取組みテーマごとの現状

協議会

釧路湿原自然再生協議会	意見交換会等を実施します	随時
	各種イベント時において自然再生を紹介します	随時
	各種情報誌での掲載を行います	随時
	釧路湿原ガイドブックの販売を進めます	随時
	自然再生協議会ホームページにて、協議会関連情報を発信します	随時
	自然再生に関わる印刷物の作成・発行をし、配布します	随時
	自然再生に関わる講演会等を実施します	随時
	自然再生に関わる視察・研修等の受け入れ・協力を行います	随時
	自然再生に関わるパネル展など企画・実施します	随時
	地元新聞社への情報掲載依頼等を行います	随時
	ホームページ「普及行動計画ワーキンググループ通信」にて、湿原に関する話題等を提供します	随時
	自然再生協議会への協賛や寄付金を募ります	随時

ワンダグリンド・プロジェクトに関する
今後のスケジュール（案）

<p>2007 年 4 月 23 日</p> <p>5 月</p>	<p>第 11 回再生普及行動計画WG 開催</p> <p>「ワンダグリンド・プロジェクト 2006」報告について</p> <p>「ワンダグリンド・プロジェクト 2007」応募結果について</p> <p>再生普及小委員会 開催</p> <p>「ワンダグリンド・プロジェクト 2006」報告書について</p> <p>「ワンダグリンド・プロジェクト 2007」の取組みについて</p>
<p>6 月中旬</p> <p>11 月～12 月ごろ</p> <p>2008 年</p> <p>2 月下旬～3 月下旬</p>	<p>「ワンダグリンド・プロジェクト 2007」公開</p> <p>「ワンダグリンド・プロジェクト 2006」報告書の作成・配布</p> <p>ワンダグリンド・プロジェクト 2007 報告書お披露目座談会開催</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>WG事務局としての取組みの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知名度調査アンケートの実施 ・「ワンダグリンド・プロジェクト 2007」進捗状況の把握 ・保全・再生を意識していない取組みの把握 ・実施内容の把握（取材・写真） ・実施者の報告書の回収 <p>「ワンダグリンド・プロジェクト 2007」実施状況とりまとめ</p> </div> <p>第 12 回再生普及行動計画WG 開催</p> <p>「ワンダグリンド・プロジェクト 2007」中間報告と 次年度募集方法についての検討</p> <p>再生普及小委員会 開催</p> <p>「ワンダグリンド・プロジェクト 2007」中間報告と 次年度募集方法の承認</p> <p>「ワンダグリンド・プロジェクト 2008」募集</p> <p>「ワンダグリンド・プロジェクト 2007」実施状況とりまとめ</p>

環境教育について(案)

1 経過

第8回再生普及小委員会(平成19年3月8日開催)において、釧路湿原環境教育ワーキンググループの方向性等について、次のとおり意見交換が行われた。

- 1) 釧路湿原環境教育ワーキンググループは、ガイドブック及び人材バンク・プログラムリストの作成をもって、当初の目的を達成した。
- 2) 今後の環境教育の進め方については、その体制を含めて再生普及行動計画ワーキンググループ(以下、「行動計画WG」)で検討する。

2 方針

行動計画WGは現在、地域住民をはじめ協議会構成員に対し、環境教育の積極的な実施や参加、環境教育活動に関する情報提供、再生普及行動計画(ワンダグリンド・プロジェクト)への参加等と呼びかけ一層の推進に努めているが、ワンダグリンド・プロジェクトは市民向け普及啓発活動が中心であり、学校教育分野での取組みの拡充についてくり返し期待の声が寄せられている。しかし学校(受入れ側)の環境教育実施に関する現状やニーズをはっきりとつかんでいないのが現状である。また自然再生事業がすすみはじめ、各主体が学校に対し環境教育を行い始めている。学校側の環境教育に関するニーズの把握が今後一層求められていくと考えられる。

そこで、学校などの受入れ側(需要)と環境教育を実施する側(供給)について検討する場として、今回新たなワーキンググループ(環境教育ワーキンググループ(仮称))を立ち上げることにする。

3 体制について

- 名 称：環境教育ワーキンググループ(仮称)
- 目 的：環境教育に関する情報収集と、その情報の共有化
環境教育推進方策の検討
- メンバー構成：再生普及小委員会委員(有志)、学校教育関係者、
学校教育行政機関、関係行政機関 等
- 事 務 局：

4 学校における湿原学習の状況・意向把握と、各機関における湿原学習の状況調査把握の実施

学校教育機関等における湿原の活用や実施の意向、必要な条件等は明らかではなく、その推進に当たっては、現状や課題等の基礎的なデータの収集が必要なところ。このようなことから、釧路湿原周辺の小・中・高校に対して、学校教育における湿原の活用等に関するアンケート調査を実施する。また、各機関において実施している湿原に関する学習についても、その実施状況について調査を行い、それぞれの情報について、方向性や到達目標を検討する。なお、調査結果については、協議会構成員をはじめ環境教育実施者や学校関係機関等にも情報提供を行い、共有化に努める。

- 1) 調査対象： 釧路湿原圏域の小中高校/大学、団体、関係行政機関 等
- 2) 調査内容：
 - ・湿原を活用した教育活動の実施状況
 - ・湿原を活用した環境教育の実施意向と必要条件、支援要望
 - ・モデル的な授業やプログラムづくりへの協力意向 等詳細は環境教育ワーキンググループ（仮称）にて検討を行う
- 3) 調査実施者：環境教育ワーキンググループ（仮称）
- 4) 調査時期：2007年夏～秋頃